

鳥栖貨物ターミナル駅開業・出発式及びお客様懇談会の開催

平成18年2月15日

九州新幹線（博多～船小屋間）の建設に伴い、久留米駅の機能も統合するため、鳥栖駅を改良する工事を平成17年3月から行ってまいりましたが、全国で27番目の着発線荷役駅（E&S方式）として、3月18日のダイヤ改正に合わせて「鳥栖貨物ターミナル駅」に駅名を改称のうえ、新たに生まれ変わります。

つきましては、開業・出発式及びお客様懇談会を下記のとおり開催いたします。

1. 鳥栖貨物ターミナル駅の概要

- (1) 総面積 約77,000㎡（うちコンテナホーム約22,000㎡）
- (2) 主な設備 着発線 6線（うち3線は着発線荷役）
コンテナホーム 2面
- (3) 列車本数 12本/日（上り5本、下り7本）
- (4) 取扱量見込 約50万トン/年間

2. 式典

- (1) 日時 平成18年3月23日（木）
 - 開業・出発式 11時～11時40分
 - お客様懇談会 12時～14時15分
- (2) 場所
 - 開業・出発式 鳥栖貨物ターミナル駅構内
「住所」鳥栖市原町字大野1370-4
 - お客様懇談会 ホテル ビアントス
「住所」鳥栖市酒井西町789-1
- (3) 出席予定者
 - ご来賓及びお客様 国会議員、九州運輸局長、佐賀県知事、鳥栖市長、鳥栖商工会議所、鳥栖市自治区、佐賀県議会、鳥栖市議会、九州新幹線建設局、九州旅客鉄道株式会社、他お客様関係各位
 - 主催者 日本貨物鉄道株式会社